

輸出事業計画

※申請者名：株式会社オハラ

品目：加工食品（くずきり、こんにゃく総菜、焼芋ペースト）

1. 輸出における現状と課題

- これまで中国など4か国にフルーツくずきりを輸出し、年間1,300万円（2021年2月期）まで売上を伸ばすなど、非常に好調である。
- 海外における健康志向の高まりや、さつまいも需要の急増といったニーズをふまえ、今後はくずきりに加え、焼芋ペーストとこんにゃく総菜の新たな海外展開にも取り組んでいく。
- くずきりの販路拡大においては、認証取得を問われるケースが多く、FSSCの取得が課題となる。また、焼芋ペーストとこんにゃく総菜については、価格優位性や大量オーダーに耐えられるだけの生産能力が求められるため、生産効率の向上が課題となっている。

2. 輸出事業計画の取組内容

- くずきりについては、中国、台湾をターゲットに、FSSC22000を取得することで、さらなる取引の拡大につなげていく。
- 焼芋ペーストについては、新規設備（パックシーラー）を導入し、手作業となっている工程を機械化することで、製品価格を抑え、新たな海外展開に繋げる。
- こんにゃく総菜については、既に大規模な引き合いが見込めるため、新規設備（OWN投入機）を導入し、生産量を増やすことで受注を獲得する。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

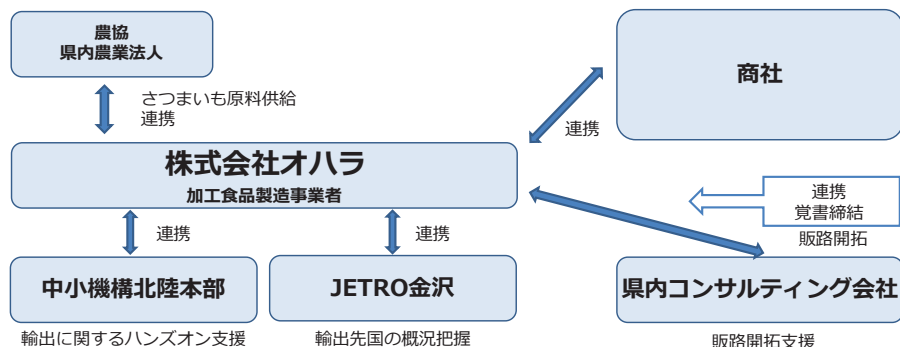
P：輸出に関する事業計画の策定（オハラ）

D：商品の製造、輸出（オハラ）

C：事業計画や商品に対する評価、アドバイス

（県内コンサルティング会社、中小機構、JETRO、商社）

A：評価をもとにした事業計画や輸出商品の改善（オハラ）



4. 輸出目標額

	現状（令和2年）	目標年（令和9年）
輸出額（円）	13,208,000	63,500,000
主な輸出先国	香港・中国・シンガポール	香港・台湾・中国・シンガポール・アメリカ